

広報
ちっぷる

No.560

4

April 2017

キッズスクエア ちっくる オープン 4/1

- 平成29年度行政執行方針
- 平成29年度教育行政執行方針
- 高齢者タクシー助成事業を充実させました
- 臨時福祉給付金について



平成29年度

行政執行方針

小さくてもキラリと輝く

存在感あるまちづくり



平成29年3月9日に開かれた第1回町議会定例会で、神薙町長が述べた平成29年度の行政執行方針から、まちの取り組み方針と主要な施策についてお知らせします。

平成29年第1回町議会定例会が開催され、本年度の各会計予算のご審議をいただくにあたり、町政運営の基本的な考え方及びその方針についてご説明申し上げます、議員各位並びに町民の皆さんのご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

昨年の本町農業を振り返りますと、基幹産業の水稲は6月の低温と日照不足で生育の遅れが見受けられま

したが、農家の皆さんの適切な肥培管理に加え、その後の天候回復によりまして、作況指数1.02と6年連続で豊穣の出来秋を迎えたところであります。

また、他の農作物につきましても、総じて農家の皆さんにとりましては苦勞の汗が報われた一年でありました。

本年度を最後に、昭和45年から続いてきた米の生産

調整が廃止されることになりませんが、道産米の安定供給を図るため、北海道農業再生協議会が主体となり、独自の新たな「生産の目安」を設け、需給に応じた米生産を進める予定であります。

国や道には、若い農業者が将来にわたり夢と希望を持って営農に勤しむことができる万全な対策を講じるよう強く望むところであります。

また、昨年11月18日に、

JR北海道が唐突に「単独では維持することが困難な線区」について発表いたしました、その中に本町を縦断する留萌本線も含まれていました。

その後、JR北海道から、これまでの経緯等について説明を受けたところでありました。

本町といたしましては、今後様々な角度から検証を行い、現在通学している高



校生をはじめ、町民の皆さんの利便性を損なうことのないような対応を求めています。

政府は、デフレからの脱却を確実なものとし、一億総活躍社会の実現に向けた、成長と分配の好循環を創出するため、平成29年度一般会計の総額を過去最大の97兆4547億円とする予算案が編成されたところであります。

地方財政対策では、平成28年度の国税収入が当初予算を下回り、7年振りに赤字国債の追加発行で財源を賄う厳しい状況のもと、地方交付税は2.2%の減となりましたが、赤字地方債である臨時財政対策債は6.8%の増となり、一般財源総額は前年度並みの予算が確保されたところであります。

財政基盤が脆弱で、地方交付税への依存度が高い本町にとりましては、厳しい状況となることから、適切な財政運営に努めていかなければならないと考えてお

ります。

本町が末永く自立し発展していくためには、財政の健全化と併せて人口の確保が最重要であるとの認識のもと、これまで様々な施策を講じてまいりました。

就任以来、「安全安心で活気に満ちたまち」を目指して、議員各位、町民の皆さんのご理解をいただきながら、定住促進団地の造成・分譲、温泉施設の増改築、消防庁舎の移転新築、公営住宅の建設、スポーツセンター・生涯学習センター等の耐震改修、米穀乾燥調製貯蔵施設の機能強化、民間活力による一般賃貸住宅及び高齢者住宅の建設や道路網の整備などを実施してまいりました。

ソフト事業に目を向けますと、子育て支援をはじめ、高齢者福祉の充実、産業後継者育成、住宅リフォーム補助、及び小中学生の学力向上対策事業など各種施策を展開してまいりました。これらは、秩父別町の発展と町民の皆さんの福祉の

向上や、人口流出の抑制に少なからず寄与できたものと考えているところであります。

本年度は、交流人口の拡大と若い世代の移住定住を促進するための核となる屋内遊戯場を4月にオープンいたしますが、町内外から訪れる多くの皆さんに快適にご利用いただけるよう万全の体制で管理・運営に努めてまいります。

今後も、「秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき地方創生を進め、事業の優先度や費用対効果を見極め、「小さくてもキラリと輝く存在感あるまちづくり」に向け各種施策を推進してまいります。

厳しい財政状況の中にあっても、町民の皆さん、議会、行政が一体となつて英知を集め、職員と一丸となり、無駄のない効率的な行政運営に取り組むとともに、町民の皆さんの多様なニーズに応え、福祉の向上に努めてまいります。



各課における主要な施策

総務課所管

▼職員の人材育成

●本年度も各種職員研修を実施し、地域が直面する諸課題に積極的に取り組む行動力豊かな職員の育成に努めます。

また、職員1人を北海道総合政策部に1年間派遣します。

▼情報セキュリティ強化

●個人情報とマイナンバーを管理する地方自治体に対して情報セキュリティの強化が求められていることから、必要な安全管理措置を講じます。

▼ふるさと納税

●2年連続で1億円を超える寄付を頂いた「ふるさと納税」は、魅力あるまちづくりを推進するための貴重な財源です。

本年度は、各種の広報媒体を活用するとともに、10月に札幌駅前地下歩行空間で開催される「ふるさと納税フェア」に参加し、本町のPRと寄付額の増加に努めます。

▼交通安全対策

●昨年1月31日に交通事故死ゼロ2000日を達成し、現在も本町の最長記録を更新中です。本年度も交通安全思想

の普及徹底と意識の啓発に努めます。

●交通量の多い南2条1丁目交差点にLED回転灯を新設するとともに、2条5丁目の回転灯を最新型に更新します。

企画課所管

▼移住・定住促進、まちづくり事業

●本年度は、新婚世帯・子育て世帯及び町内就業者向けの家賃助成制度の創設と、引越助成金の見直しを行い、暮らしやすさをアピールし、人口の確保に努めます。

●昨年度創設した、町内すべての住宅を対象とした住宅リフォーム補助金は、大変好評を得ており、継続して実施します。

▼日本一のキュービックコネクション【屋外遊戯場】

●「ベルパークちっぷべつ」内に、日本一のキュービックコネクションと健康遊具等を配置する屋外遊戯場の整備に着手します。

本年度は外構整備、遊具の支柱工事を実施します。
(来年7月頃オープン予定)

▼インバウンド事業

(外国人観光客の誘致)

●国や道では、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客の誘致活動を進めており、本町においても観光客の増加に向け、昨年度に引き続きインバウンド事業の可能性について調査検討を進めます。

▼秩父別温泉、源泉井戸のボーリングを実施

●温泉の源泉が掘削以来30年を経過するため、不測の事態に備えて新たな源泉井戸のボーリングを実施します。

▼地域おこし協力隊

●本年度、地域おこし協力隊は2名体制となり、引き続き町の情報発信をはじめ農産物の加工研究、国際交流の推進など地域の活性化に資する活動を進めていただきます。

▼協働のまちづくり

●本年度においても協働のまちづくりを推進するため、「公用車貸出事業」や「まちづくり・まちおこし補助金制度」を引き続き実施します。

住民課所管

▼子育て支援

●乳幼児予防接種の完全無料化をはじめ、高校生までの医療費の無料化、保育料の大幅な軽減、子育て世帯の水道基本料金助成など、引き続き実施します。

▼高齢者福祉の向上

●本年度は、高齢者タクシードット助成事業の仕組みを変更し、対象年齢を温泉助成券と同様に60歳以上に引き下げ、「悠々タクシー券」とします。

料金にに応じて、100円単位で負担いただき、最大で約9割の補助をします。また、温泉助成券も「悠々温泉券」として、

前年度同様に交付します。

▼社会福祉の向上

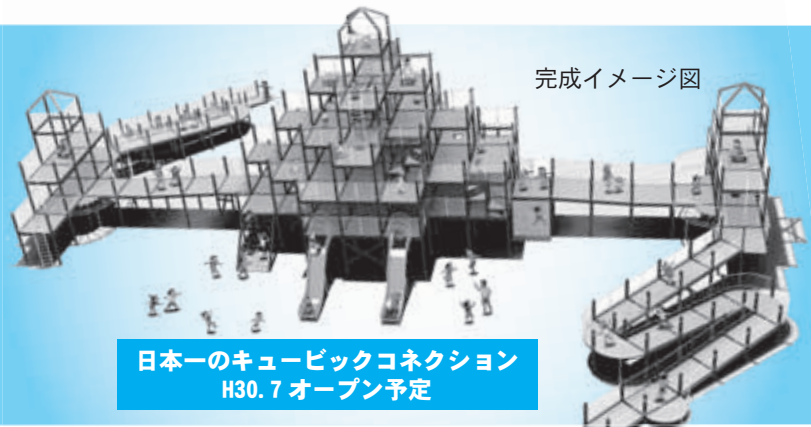
●特別養護老人ホーム「和敬園」は、築35年が経過し、数年計画で大改修が行われる予定であるため、町としては和敬園の持つ社会的必要性に鑑み、多額となる施設改修費の一部を助成します。

●民間運営による障がい者グループホームの建設地として、ゲートボール場跡地を整備して無償貸与し、建設費を助成します。また、障がいを持つ方が趣味や創作活動など、快適な日常を過ごしていただくための場所として、生涯学習センターの一部を改修します。

●介護スタッフ不足を解消するため、介護職員初任者研修に対する補助金の交付などを行います。

▼健康対策

●妊婦健診の費用助成と妊婦相談等を通して、生まれる前からの支援、子育て期までの切れ目のない母子保健事業を継続します。また、健康診断及び人間ドックに係る費用の助成に加え、食に関する栄養相談や、心と身体のバランスに着目したストレスチェックなど、包括的な健康づくりの施策を展開します。



▼介護予防

●本年度は、認知症の方及びその家族を訪問し、アクセスメントなどの初期支援を行い、自立生活のサポートを行う「認知症初期集中支援チーム事業」を北空知広域で実施します。

●介護認定を受けた方の重度化予防と、健康な高齢者の体力づくりを習慣づけ、住み慣れた地域で健康に暮らし続けることを目指して、昨年から実施している「まるごと元気体操教室」は、多くの皆さんに好評をいただいているため、引き続き実施します。

産業課
農業委員会所管

▼農業の振興

●本年度から2年間、北海道から職員1名を派遣いただき、法人設立などの支援をいただきます。

●生産性の向上と安定的な収量確保に欠かすことのできない、区画整理及び暗渠排水整備事業など、受益者負担軽減のため、引き続き、北海道のニューパワーアップ事業に対し、応分の負担をします。

●次代を担う農業青年や農村女性が、先進的な技術の研鑽と見聞を広めるために、国内

外における研修への参加に対し、費用の一部を助成します。

●育苗施設（H7建設）の育苗箱洗浄機は、導入後20年以上経過し老朽化が著しいため更新します。

●本年度、第6回目の「秩父別産新米普及マラソン大会」はバラ園の閉園日である10月8日に開催し、秩父別産米の普及拡大と、バラ園の一層の知名度アップに努めます。

▼農業委員会

●法改正による新農業委員の選任について、地域の農業団体からの推薦をいただき、さらに一般応募の中から農地利用最適化の推進など、適切に職務を遂行できる人材を選任します。

●本年度も、近隣所有者及び意欲ある認定農業者への農地利用集積に向けたあつせん活動を推進し、円滑な対応に努めながら中立性を保った農業委員会業務を遂行します。

▼観光の振興

●バラ園は指定管理者による高度な栽培技術と丹精込めた管理に加え、ローズガーデン協同組合には、食事などを提供いただいておりますが、本年度は、秩父別温泉、道の駅「キッズスクエア ちっくる」等との連携を図りながら、観光客誘致に取り組みます。



▼とんでんまつり

●本年度、第40回の節目を迎える「とんでんまつり」は、8月5日、6日の2日間での開催を予定しています。

●初日の前夜祭では、ステージショーとビールパーティー、花火大会を行い、本祭では、むかで競走、自衛隊員によります北鎮太鼓、キャラクターショーなどを予定しています。

▼商工の振興

●商工会では、まちの活性化に向けた「あきないまつり」や「ちっぷフェスティバル」などのイベントを開催してい

建設課所管

ただいており、引き続き応分の助成をします。

●スタンプ会実施のポイント5倍セールについて、町民皆さんに大変好評を得ているため、継続して助成を実施します。

▼道路整備・道路除排雪
橋梁点検

●継続事業の2丁目路線局部改良工事を実施します。

●道営事業で実施する滝の上隧道改修工事に係る応分の費用を負担します。

●道路除排雪について、現行の体制を維持し、冬期間も快適に生活できるように、引き続ききめ細かな道路管理に努めます。

●橋梁の長寿命化修繕計画に基づき2橋の設計と1橋の補修を行うほか、5年ごとの法定点検を継続して実施します。

▼河川管理

●妹背牛町が管理する8丁目排水機場のポンプ分解整備等の経費について、応分の負担をします。

▼公営住宅の管理

●公営住宅は、適宜修繕・補修を行い、快適な住環境を維

持するため適切な管理に努めます。

▼水道事業

●本年度は、中央西C団地2棟8戸の屋根葺き替え、壁の塗装等の長寿命化改修工事を行います。

●本町の水道施設は、昭和57年から59年にかけて給水区域の拡張と、既存配水管の改良工事を実施しましたが、これらの配水管は平成34年から順次更新時期を迎えます。

▼下水道事業

●農業用水の水質保全と、快適で清潔な生活環境の形成を図るため、施設・設備の点検や管路状況の調査・清掃等を継続的に実施し、安定した汚水処理に努めます。

●本年度は、障がい者グループホーム建設に伴う公共施設置、コンポスト施設及び中継ポンプ場の機器更新と修繕を実施します。

●昨年度実施した機能診断調査に基づき、最適整備構想を策定し、中長期的な視野に立った施設の計画的な維持修繕を進めます。

平成29年度

教 育 行 政

執行方針



平成29年3月9日に開かれた第1回町議会定例会で、西田教育長が述べた平成29年度の教育行政執行方針をお知らせします。

教育行政の方針と主な施策について申し上げ、議員各位並びに町民の皆さんのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

教育は、未来を担う人材を育て、先人が創り上げてきた本町の発展を将来にわたって繋げていくための重要な基盤であります。

このことを深く胸に刻み、地域とともに人づくりを進めてまいります。

近年、様々な情報の取得が容易となった高度情報化社会において、個々人の価値観が多様性をみせるとともに、グローバル化やイノベーションは日進月歩の様相を呈しており、ライフスタイルにも大きな変化が見受けられます。

こうした時代のすう勢に順応できる人材を育成するために、学校教育におきま

しては基礎学力の向上をはじめ、心身ともに健やかな成長を促し、社会教育では、高度化する町民の皆さんの学習ニーズに対応した多様な学習機会の提供に努めてまいります。

学校教育の推進



近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が予測を超えて急速に進展し、複雑で予想困難な時勢を迎えつつある中で、次世代の中心となる子ども達には、変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向

き合つて関わり合い、その過程をとおして、自らの可能性を発揮しながら、より良い未来を切り拓く創り手となる力を身に付けることが望まれております。

そのためには、学校教育として「何を学ぶか」に加え、「どのように学ぶか」「何ができるようにするか」を教えて、資質や能力を確実に高め、さらに、自立して生きるために必要な「生きる力」を育むという理念の具体化や「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善も進めなければなりません。

このような諸課題に対処するためには、児童生徒を直接指導する教員一人ひとりの資質・能力と指導力が大きく関わることから、教職員の校内研修の充実ともにより、各種研修会や研究会などへの参加を促し、引き続き教職員の研鑽と職能の向上に取り組んでまいります。

さらに、小規模校の特性を活かし、児童・生徒一人

ひとりの発達段階や学習課題等に応じた、きめ細かな指導に努めてまいります。

学校教育の主な施策

- 小中学校の屋上防水工事の実施と老朽化した中学校の暖房機を更新します。
- 中学校のタブレット型パソコンを有効に活用するため、無線LANを整備します。
- 本年度も中学生の修学旅行費用の一部を助成し、保護者の負担軽減に努めます。
- 学力向上を図るため、本年度も小中学校に学習支援員を過年で配置いたします。
- 英語の発声や基本的な表現などのコミュニケーション能力の素地を養い、併せて国際感覚を身につけるために、英語指導助手の配置を継続します。
- 中学校の英語教諭による小学校への乗り入れ授業を実施します。
- 「夢の教室」を本年度も開催し、一流アスリートの体験などに触れ、子ども達に生きかたなどを考える機会を提供します。

■子育て支援の一環として、給食費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

■児童生徒の安全対策について、防犯パトロールの皆さんや地域の方々に登下校時の安全確保や、子ども達の見守りにご協力をいただいております。

■本年度も、学校・家庭・地域及び関係機関と連携して、子どもたちの安全に努めます。

■学校と緊密な連携を図りながら、いじめのない教育環境づくりに努めます。

社会教育の推進



「いつでも」「どこでも」「だれでも」を合言葉に生涯学習の町宣言から23年を経過した今日、多くの町民

の皆さんが生涯学習宣言の町にふさわしい一人一学を実践しております。

■教育委員会では、今後も引き続き高度化・多様化する町民の皆さんのニーズに応えるため、各種講座や教室を開催するなど、学習機会の充実に努めてまいります。

社会教育の主な施策

■幼児・家庭教育について、

■本年度も「子育てサロン」や「ブックスタート」など、町部局や関係機関と連携した事業を展開し、幼児の発育段階に応じた教育支援に努めます。

■青少年教育として、放課後児童の交流の場である「ちつぶっ子ふれあいスクール」は、事業内容の充実を図ります。

■長期の休み期間中に「望ましい習慣」の定着と、本町の歴史や文化などへの興味を深め、郷土愛を育む事業を展開します。

■スポーツ少年団や青少年団体に対する活動支援を継続します。

■本年度は本町の児童生徒が姉妹町の綾川町を訪問し、児童生徒の交流を通じて綾川町との絆を一層深めます。

■図書館について、蔵書を拡充し情報拠点としての機能を高めるとともに、ボランティア団体との連携により親子で楽しめる様々な事業や独自のイベントを開催し、図書館利用者の増加に努めます。

■4月1日オープン「キッズスクエア ちつくる」は、指定管理者に管理を委ね、適正な管理と安全確保に万全を期すとともに、利用者の方々の意向を把握し、喜ばれる施設となるよう努めます。

スポーツ・文化活動の助長

本町には、それぞれの体力や年齢に応じて、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境が整っており、多くの方々が各施設を利用しております。

■本年度も体育協会をはじめ

め、関係団体と連携をとりながら、町民の皆さんのスポーツに対する関心と定着化を図り、健康保持・増進に努めてまいります。

スポーツ・文化活動の主な施策

■文化活動について、様々なグループやサークルが自主的・主体的に活動を行う

中で、文化事業や鑑賞会も開催されるなど、町民の皆さんが文化や芸術に触れる機会も増えてきていることから、本年度においても、文化連盟をはじめとする文化活動に支援をします。

■生涯学習センターについて、本年度、事務所を含む未改修部分の耐震改修工事を行い、安全で安心して利用できる施設にします。



一流アスリートによる夢の教室



老人オリンピック



総合文化祭



少年スポーツ教室